

市内の尾根に 140 基以上の巨大風力発電が林立

いわき市内でも大規模な風力発電事業が次々と進められようとしています。すでに、滝根小白井ウインドファームでは 23 基が設置され稼働しています。その内いわき市川前地区に 13 基です。

三大明神風力発電 17 基、田人風力発電 6 基、阿武隈南風力発電 45 基、馬揚山風力発電 18 基、神楽山風力発電 23 基、遠野風力発電 27 基がと合計 140 基以上が計画されています。

2017 年 9 月 9 付けでアカシア・アブルズ（株）に「（仮称）遠野風力発電環境影響評価配慮書に対する意見書」を提出しました。

また、9 月 11 日には JR 東日本エネルギー開発に対し、「（仮称）馬揚山風力発電環境影響評価方法書に対する意見書」を提出しました。

（仮称）遠野風力発電事業 アカシア・アブルズ（株）外資系

- ・約 2,000 kW～3,200 kW×最大 27 基＝総出力 86,400 kW
- ・ローター系 80～105m、
- ・ハブ高 78m～100m
- ・発電機の高さ 118m～155m
- ・平成 32 年着工、34 年運転開始

